

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-231)

提出日 平成 19 年 9 月 7 日

(1) イベント名

遠隔医療に関する講演（香川大学ファーストレベル研修）

イベント概要

目的

JGN II の PR 及び利用促進のため。

内容

香川県看護協会が開催する平成19年度「ファーストレベル（看護情報論）」の研修の一貫として、香川大学医学部附属病院において医療情報管理（主に遠隔医療と電子カルテ）に関するセミナーが開催されるにあたって、JGN II を利用して、長崎県立大の立石憲彦先生から長崎県における、医療ITの利用、特に遠隔医療に関する講演をライブで行うとともに、あわせてJGN II についてもPR及び利用促進を行った。JGN II を介して、会の初めから午前の部を中心として、香川大学医学部臨床講堂と長崎県佐世保市耀光リハビリテーション病院会議室の両者を接続して、双方向の講演を行った。

プログラム

日時： 平成19年8月30日（木）9：00～12：15

場所： 香川大学医学部 臨床講義棟 2 階

内容：

9:00～9:10

看護部長挨拶

9:10～9:50

「IT新改革戦略と電子カルテ」

附属病院医療情報部教授 原 量宏

経営企画課課長補佐 吉野紀章

9:50～10:30

「長崎県における離島医療の現状と遠隔医療への期待」

長崎県からの遠隔講演 超高速ネットワーク JGN II を介して

長崎県立大学教授 立石 憲彦

10:30～11:00

「当院の看護システムの概要(看護計画を中心に)」

松本佐和子看護師長

11:00～11:15

休憩

11:15～11:45

「安全管理と情報システム」

安全管理室室員 山本 恭通(呼吸器・乳腺内分泌外科講師)

11:45～12:15

「感染対策と情報システム」

副技師長 根ヶ山 清

午後：病院見学

主催 香川県看護協会、香川大学医学部附属病院

後援 総務省四国総合通信局

出席者

香川大学医学部附属病院 約80名（香川県看護協会、大学教職員）

長崎県佐世保市耀光リハビリテーション病院会議室 約10名

（長崎県立大大学院生、市耀光リハビリテーション病院職員）

<http://www.hakujujukai.or.jp/yohkoh/>

利用方法

長崎大学(九州-5)と香川大学医学部(四国-4)をJGN II 経由で接続し、長崎-高松間で映像配信(双方向)を行った。(合計3時間305分)

映像配信については、DVT Sによる伝送を行った。

(3) イベントのスケジュール

(特に、回線の試験期間と本番利用期間を明記してください。)

回線試験期間（希望）： 平成19年8月 27日（月）～7月30日（木）
本番利用期間： 平成19年8月 30日（木）

(4) 申請者(イベントの責任者)

所属機関： 総務省四国総合通信局
所属部署等、役職： 情報通信部 電気通信事業課

(5) イベントの利用にかかる連絡窓口

所属機関： 総務省四国総合通信局
所属部署等、役職： 情報通信部 電気通信事業課

(6) トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

香川県看護協会ファーストレベル研修ネットワーク構成



※ 現段階で、長崎大学については、商用回線を使用して他の場所で行う可能性あり。

(7) 参加人数 香川大学医学部臨床講堂 約80名（香川県看護協会、大学教職員）、長崎県佐世保市燿光リハビリテーション病院会議室 約10名（長崎県立大大学院生、市燿光リハビリテーション病院職員）

(8)実施の評価

ア 評価

イベント当日は、香川大学医学部附属病院講義棟と長崎県佐世保市にある燿光リハビリテーション病院会議室の間を JGNII により双方向で結び、合計 6 演題（佐世保からは 1 演題）が発表された。

映像、音声とも非常に安定して双方向に伝送され、両会場の参加者は、超高速ネットワークのもつ素晴らしい機能に関心をもっていただけるとともに、医療分野における超高速ネットワークの意義と今後の可能性についても啓蒙することができた。

特に、佐世保の会場に関しては、長崎大学のアクセスポイントから長崎ケーブルメディアの協力を得て足回り回線を新規に確保し、短時間のトライアルにもかかわらず、滞りなく JGN II を利用することができた。

イ 開催風景



香川大学医学部臨床講堂（約 80 名）、佐世保からの講演



県佐世保市燿光リハビリテーション病院会議室（約 10 名）、香川からの映像